

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎薬理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	4校舎502教室
担 当 教 員	味山 俊彦	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
販売専攻、分析専攻を問わず、薬がどのように効果を出すか、或いは、どのように副作用が発生するのかについて理解することが必要です。これらの知識を身に付けることで、将来の職場で活躍することができます。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験70% 出席点 20% 平常点 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
医薬品登録販売者試験対策テキスト2024(株式会社じほう)						
《授業外における学習方法》						
テキストについては自宅でもしっかりと読み込んでおいてください。予習・復習は必ずしてください。薬に関するニュースを見たときは、薬理的な視点から考えるようにしてください。						
《履修に当たっての留意点》						
初めて目にする用語がたくさん出てきますが、きちんと講義ノートを作ってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーションによって薬理学とは何かを知ることができる。	医薬品登録販売者試験対策テキスト		
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション。薬理学とは何か、将来、どのように必要となるのかについて解説する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	副作用について理解することができる。	医薬品登録販売者試験対策テキスト	前回の復習と次回予定範囲のテキスト部分を読むこと	
		各コマにおける授業予定	広義の副作用と狭義の副作用、薬理作用による副作用とアレルギー			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	不適正な使用と有害事象について理解することができる。	医薬品登録販売者試験対策テキスト	前回の復習と次回予定範囲のテキスト部分を読むこと	
		各コマにおける授業予定	用法・用量を守らない不適正使用により発生する有害事象、習慣性・依存性のある薬物			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	相互作用について理解することができる。	医薬品登録販売者試験対策テキスト	前回の復習と次回予定範囲のテキスト部分を読むこと	
		各コマにおける授業予定	他の医薬品や食品との相互作用や飲み合わせによって生じる不適切な作用			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳児・幼児・小児への配慮について理解することができる。	医薬品登録販売者試験対策テキスト	前回の復習と次回予定範囲のテキスト部分を読むこと	
		各コマにおける授業予定	乳児、幼児、小児の体の特徴と薬が及ぼす影響			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者への配慮について理解することができる。	医薬品登録販売者試験対策テキスト	前回の復習と次回予定範囲のテキスト部分を読むこと
		各コマにおける授業予定	高齢者の体の特徴、基礎疾患を持つ方に薬が及ぼす影響		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	妊婦又は妊娠していると思われる女性への配慮について理解することができる。	医薬品登録販売者試験対策テキスト	前回の復習と次回予定範囲のテキスト部分を読むこと
		各コマにおける授業予定	血液・胎盤関門を通過する薬物、腸の蠕動運動を活性化させる薬物		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	授乳婦への配慮について理解することができる。	医薬品登録販売者試験対策テキスト	前回の復習と次回予定範囲のテキスト部分を読むこと
		各コマにおける授業予定	母乳中に移行し、乳児に影響を与える薬物		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬の全身作用と局所作用について理解することができる。	医薬品登録販売者試験対策テキスト	前回の復習と次回予定範囲のテキスト部分を読むこと
		各コマにおける授業予定	循環血流に入る薬物の経路		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	初回通過効果について理解することができる。	医薬品登録販売者試験対策テキスト	前回の復習と次回予定範囲のテキスト部分を読むこと
		各コマにおける授業予定	循環血流に入り、門脈を通過し肝臓に入った薬物の挙動		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	血中濃度について理解することができる。	医薬品登録販売者試験対策テキスト	前回の復習と次回予定範囲のテキスト部分を読むこと
		各コマにおける授業予定	血中濃度の変化とその要因		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	剤形と薬効発現の関係を理解することができる。	医薬品登録販売者試験対策テキスト	前回の復習と次回予定範囲のテキスト部分を読むこと
		各コマにおける授業予定	さまざまな剤形の特徴		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	剤形と薬効発現の関係を理解することができる。	医薬品登録販売者試験対策テキスト	前回の復習と次回予定範囲のテキスト部分を読むこと
		各コマにおける授業予定	さまざまな剤形の特徴		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	全身的に現れる副作用について理解することができる。	医薬品登録販売者試験対策テキスト	前回の復習と次回予定範囲のテキスト部分を読むこと
		各コマにおける授業予定	アナフィラキシー、SJS、TEN、肝機能障害、偽アルドステロン症		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	局所に現れる副作用について理解することができる。	医薬品登録販売者試験対策テキスト	前回の復習と次回予定範囲のテキスト部分を読むこと
		各コマにおける授業予定	間質性肺炎、イレウス、腎障害、眼圧上昇、接触皮膚炎、光線過敏症		